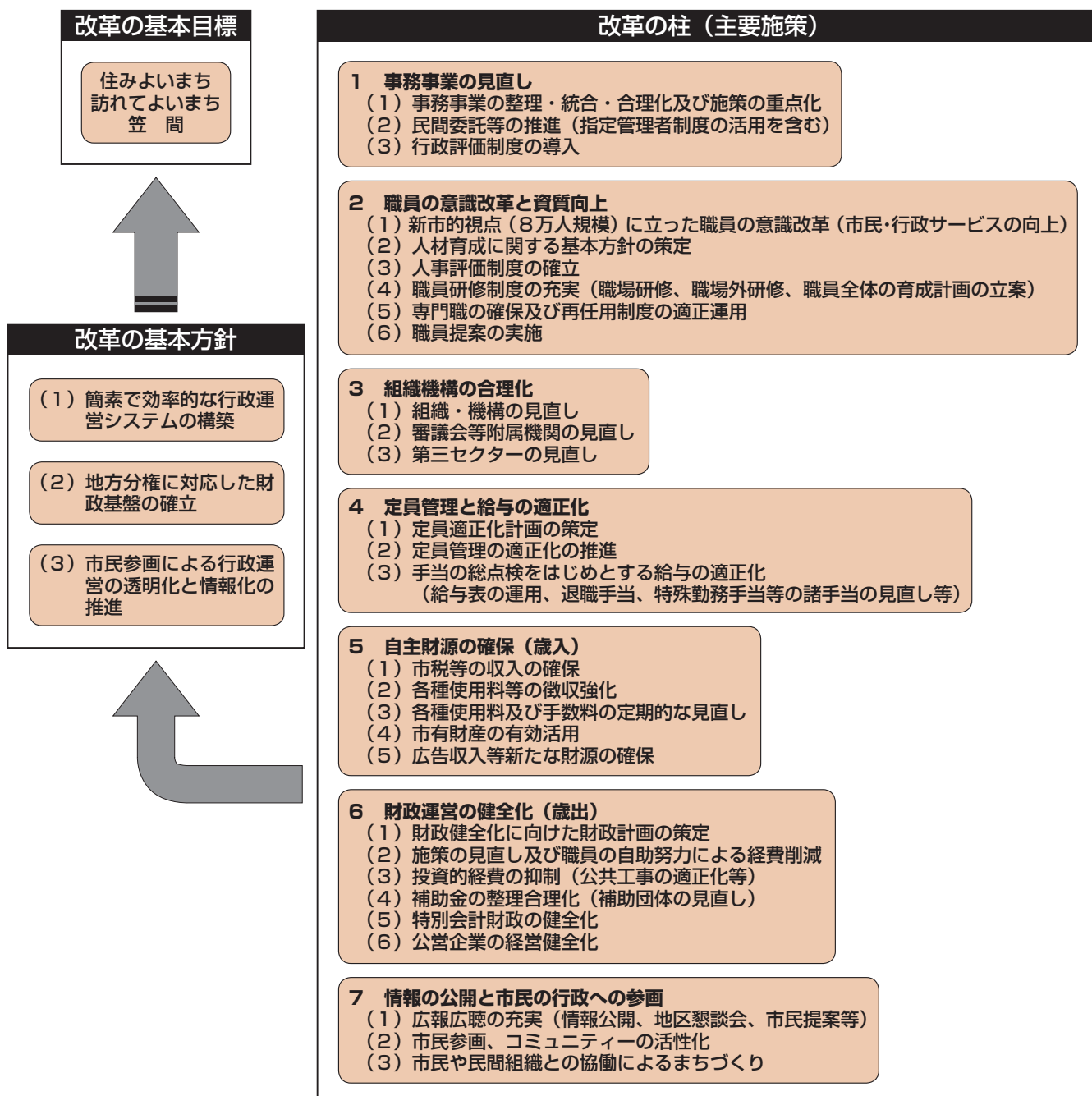


笠間市行財政改革大綱実施計画 平成19年度実績

笠間市では「住みよいまち 訪れてよいまち 笠間」の実現のため、「笠間市行財政改革大綱」及び「実施計画」を策定（平成19年3月）し、7項目の主要施策により積極的に行財政改革に取り組んでいます。



○重点項目

主要施策のうち、次の項目を重点項目として位置づけ、推進しています。

重点項目

1 事務事業の見直し

- (1) 事務事業の整理・統合・合理化及び施策の重点化
- (2) 民間委託等の推進（指定管理者制度の活用を含む）

5 自主財源の確保（歳入）

- (1) 市税等の収入の確保
- (5) 広告収入等新たな財源の確保

○取組状況

進捗状況の的確な把握と推進項目の追加・変更に対応するため、毎年度の成果等の見直しを行い、18年度の132項目の推進項目に28項目を追加し、19年度の実施計画は160項目となりました。

【総括表】

区 分	H18年度	H19年度
実施計画（前年度から）	129	132
追加項目	5	28
除外項目	▲2	-
合 計（実施項目）	132	160
完了した項目	3	15
継続実施する項目	124	140
一部実施した項目	2	2
未実施項目	3	3
実施率	97.7%	98.1%

※実施率：（継続実施する項目 + 一部実施した項目） / （合計（実施項目） - 完了した項目）

実施計画については、改革が順調に進んでいる項目と、一部実施・未実施及び実施年度を見直した項目がありますが、おおむね計画どおり実施しており、経費削減等効果についても一定の成果がありました。

今後は、改革をより一層推進するため、年度ごとの各課重点実施項目を掲げるとともに、職員の意識向上のための施策を継続実施し、次年度以降の計画達成に向けて取り組んでいきます。また、行財政改革を推進するためには、行政と市民の信頼関係を図ることが重要であることから、削減するものと市民サービスの向上のために投資していくものを明確にするなど、説明責任を果たしながら進めていきます。

【主要施策ごとの経費削減等効果】

主 要 施 策 名	経費削減等効果
1 事務事業の見直し	-26,296千円
2 職員の意識改革と資質向上	-760千円
3 組織機構の合理化	-716千円
4 定員管理と給与の適正化	-189,352千円
5 自主財源の確保（歳入）	+68,142千円
6 財政運営の健全化（歳出）	-115,097千円
7 情報の公開と市民の行政への参画	-
経費削減等効果 削減合計	-332,221千円
経費削減等効果 収入増合計	+68,142千円

○特記事項

特別職の給与カット、議会の自主解散・議員定数の削減、農業委員会の改選については、市の財政に大きな効果がありました。

項 目	経費削減等効果
・特別職の給与カット ・議会の自主解散・議員定数の削減 ・農業委員会委員の改選	▲267,612千円

【表記の考え方】

○経費削減等効果等は、基本的に平成17年度（旧3市町）と比較をしたものです。また、効果額には、改革に要する必要経費を含んでいません。

問合せ先：行革推進課（内線571）